

令和8年度

木瀬中学校の教育

進んで学び 豊かな心で たくましく生きる生徒の育成

スローガン「*時を守り 場を清め 礼を正す」に基づいた指導の実践

*哲学者 森 信三 氏の言葉 3つの行為の背景にある「自ら進んで行うこと」「周囲の人の気持ちを想像できること」を大切に、日々を楽しく充実して生きる

自ら考え、自ら学び 正しい判断ができる生徒を育む

礼儀正しく、相手の思いを想像できる生徒を育む

心身を鍛え、協働して課題解決に最後まで取り組める生徒を育む

- 1 授業のめあてを明確にするとともに「課題解決への見通し」「振り返り」の場面を工夫して主体的・意欲的に学ぶ態度を育みます。
- 2 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行い、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力を育成します。
- 3 タブレットの有効活用や個に応じた指導支援など個別最適な指導の充実を図るとともに、生徒理解を深め特別な支援を必要とする生徒に対して組織的・継続的に関わり、生徒一人一人の力を伸ばします。
- 4 社会貢献の考えをもとに体験を伴う活動を充実させることで、実感を伴う学びを展開し、将来や生きることへの夢や希望を育みます。
- 5 各教科等でキャリア発達に応じた指導を計画的・継続的に行い、生徒が自分自身について考え行動できる力を養います。
- 6 家庭と連携を図りながら、授業での扱いや量など家庭学習の在り方の工夫を通して自学自習が進められる学習習慣を身に付けさせます。

- 1 他者への配慮を忘れず相手の思いを想像することを指導し、より良い人間関係を築く力やコミュニケーション力を養います。
- 2 道徳科の授業を中心にして、他教科の授業や学校行事における指導など、教育活動全体を通して豊かな心を育てます。
- 3 生徒のより良い人間関係づくりの機会として行事を工夫改善し、学級や学年・学校全体の結束を強めるとともに相手を思いやる心を育て、「いじめのない人間関係」を醸成します。
- 4 人権意識や地域貢献の意識を高める取組により、様々なものへの思いやりや優しさにつながる社会的な実践力を育てます。
- 5 生徒理解に基づく個々の心に寄り添った支援や教育相談活動を組織的・計画的に行うとともに自己実現を図る活動を充実し、生徒の自己有用感を育みます。
- 6 各種通信や学校公開等により学校の情報を提供したり、学校運営協議会で協議したりすることで、学校・家庭・地域で同じ目標の下に生徒を育てる基盤づくりに努めます。

- 1 やり遂げる充実感や達成感を味わえるよう活動には具体的な目標をもたせ、見通しをもって最後まで頑張る気力を養います。
- 2 学級活動や生徒会活動において、生徒自身による自治的活動を一層推進することで生徒の達成感や自己有用感・自己肯定感を醸成します。
- 3 日常の健康安全指導や学校保健委員会を通じて心身の健康に関心をもたせることで、様々な感染症の対策や疾病への対応や体力増進など、進んで自らの健康管理を行う態度を育てます。
- 4 日常の生活指導とともに給食指導を中心とした食育指導を通して、心身ともに充実した規則正しい生活習慣を確立させます。
- 5 交通安全教室や避難訓練の他、登下校指導を意図的・計画的に行い、身の回りの危険に気づき自分の身を自分で守れる安全意識の醸成と実践力を向上させます。
- 6 地域貢献や社会貢献を根底においた活動を推進し、他者と意見を交わして話し合ったり、合意形成をしたりする態度や実践力を育てます。